

1. はじめに

中国ブロック安全大会は、5県域（広島・島根・岡山・鳥取・山口）で10月から1月にかけて、NTT西日本グループ様と情報通信エンジニアリング協会中国支部の主催により開催しました（写真1）。

2020年度の開催については、例年とは異なり新型コロナウイルス対策のため、会場への人数制限やリモート、アーカイブ等を考慮した開催となりました（表1）。

1人ひとりの危険に対する感受性を高め、事故の再発防止、未然防止につなげるとともに、安全衛生講演の聴講等により、さらなる安全意識の高揚と健康管理の重要性の再認識を図ることを目的としています。

開会式では、NTT西日本の各支店長様、情報通信エンジニアリング協会中国支部や関係者様のご挨拶に続いて、安全スローガン唱和が行われ、アーカイブでの事故再現、各種施策のリモート配信等が行われました。



写真1 会場模様

その中で、今回は、1月14日（木）～22日（金）に開催されたNTT西日本岡山グループの「安全推進ウィーク2020」（表2）の模様について紹介します。

表1 安全大会開催日程

開催日	県	大会名称および会場
10月16日（水）	鳥取	2020鳥取安全推進大会 旧湖南中学校
10月27日（火）	広島	2020安全大会 in 広島 広島市中小企業会館
12月1日（火）	山口	2020年度 NTT山口グループ安全衛生大会 NTT山口支店ビル
1月14日（木） ～22日（金）	岡山	安全推進ウィーク2020 岡山クレドビル等
1月18日（月） ～22日（金）	島根	NTT島根グループ安全推進期間 NTT島根支店ビル

表2 安全推進ウィーク2020プログラム

開催内容		
◆オープニング セレモニー	1月14日（火） 10:30～10:50	・主催者挨拶 ・安全宣言 ・最優秀スローガン唱和
◆贖いの日々 朗読	10:50～11:15	・OHK岡山放送アナウンサー 森 夏美 様 による朗読（2話）
◆講演会	11:15～11:50 安全運転管理者法定研修会講師 内匠（たくみ）雄彦 様 「新型コロナウイルスの特性からみえる 交通安全対策の方向性」	1月19日（火）10:30～11:00 NTT西日本 中国健康管理センター 所長 山根 公則 様 「ウイズコロナ時代を生き抜く現代版養生訓」
◆各種施策	1月14日（火）PM～	

主な各種施策

- (1) 作業安全施策
 - ・VR → 本社作成のものをアレンジ
 - ・事故再現 → バケット車逸走事故再現
 - ・フルハーネス安全帯 → 装着手順、使用シーン映像作成
- (2) 交通安全施策
 - ・ドライブレコーダ映像 → 中国エリアで発生した事故映像
 - ・ヒヤリハットあるある → 特に留意したヒヤリハット情報をフィードバック
- (3) 健康増進施策
 - ・コロナ対策グッズ → Nコレに展示した映像の紹介
- (4) 広報・告知施策（ウィーク期間までの広報活動）
 - ・アマビエ作成、安全旗への署名を映像で紹介

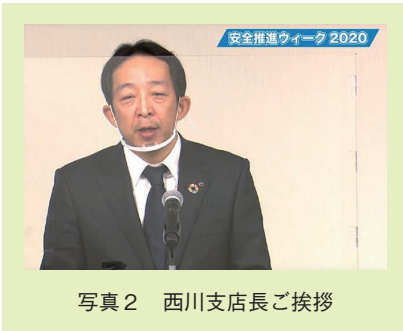


写真2 西川支店長ご挨拶



写真3 平原支部長挨拶



写真4 安全宣言

2. 開会式

開会式では、西川NTT西日本岡山支店長(写真2)より、「11都府県で緊急事態が宣言されるという、引き続きコロナとの厳しい戦いの中での幕開けということになっています。コロナの時代においては、我々が提供しているICTといったものへの期待がこれまで以上に高まってきているということを感じています。

さて、本日より22日までの約1週間にわたりまして、安全推進ウィーク2020として、コロナを考慮してオンラインをメインとした安全・健康への意識を今一度高めていくという取組みを実施します。

今年度の岡山エリアにおける事故の状況は人身事故は今現在0件ということで、日頃の皆様の安全への取組みの賜物だと本当に感謝をする次第です。

一方で西日本エリア全体を見ますと、2019年度人身事故10件に対して2020年度は14件発生をしているという、全体的には全く予断を許さない、安心できない状況になっています。

交通事故については、岡山で7件発生しており、いずれもバックをする時に後方の確認が不足していたとか、大丈夫等の思い込みによるものなどが理由の大半です。

社外に目を転じてみると昨年11月香川県与島沖で修学旅行中の小学

生を乗せた小型船が転覆・沈没するという事件は皆様の記憶にも新しいところだと思いますが、この事故についてもやはり基本動作の不徹底が原因の一端にあるのではということが言われており時間圧の関係から近道行動をとったことが原因であります。

しかしながら、そういう時こそ間を置いて冷静になって基本動作を今一度確認してということが安全につながるということを改めて感じさせる事故だったなと思っています。

最後に、繰り返しになりますけれども、今回の安全推進ウィークを通して、自分自身あるいは仲間・家族の安全と健康を守るために、さらにコロナの感染を防ぐために、何をすべきか、何を心に留めておくべきかということを今一度見つめ直す良い機会としていただくことをお願いします。」とのご挨拶がありました。

引き続き、情報通信エンジニアリング協会中国支部 平原支部長(写真3)より、「今回はコロナの影響で、いろいろな活動が縮退したり自粛したりしている中で、形は違えども、こういう形で分散であったり、オンライン開催される今回の安全推進ウィークを是非とも開催している趣旨を活かして岡山エリアにおける事故の撲滅というところに今日皆さんの気合いを合わせていただければありがたいと思います。

通建会社の関係で言うと、6件の人身事故が発生しており、我々中国

エリアで昨年12月に山口のエリアで、宙乗り作業中に8m下の田の畦道に落下するという一歩間違えたら、死亡事故に至る可能性があった重大な転落事故が発生しました。

私は、その一報を聞いた時に一瞬思ったのが、まだ宙乗り作業という作業があるのだと思いました。

日頃、宙乗り作業に対しての指導や練習ができていたのかというと、やはり最近やったことがない、できてなかったという反省をした次第です。

安全活動というのは、やはり忘れないようにしっかりと継続してやっていくという大切さ、安全を継続するためには、しっかりと安全を確保する仕組みもしっかりと築き上げていかないといけないと思っています。

我が社ソルコムの中ではゼロ災運動もやっており、あいさつ、5S、KYT、指差し呼称です。なかなか定着できないのが指差し呼称であり、日頃からしっかりとやりながら安全を管理される方は安全の土台を作っていく、その上で作業される方にはしっかりと基本動作を身に付けて守っていただくといった、しっかりと構造をつくっていかないといけないと思っています。」とご挨拶がありました。

その後、代表者による安全宣言(写真4・図1)、安全衛生スローガン表彰に続き、(株)ソルコム岡山支店 松永 和之様の最優秀作品「三

安全宣言

今年度は4月から本日まで、岡山管内における作業人身事故はゼロを継続しております。引き続き更なる基本動作の徹底、現場KY及び事務所とのKY確認、近道行動の回避を実施し、絶対に事故を起こさないという強い気持ちで日々の安全作業を実施していく所存です。

私達は、本日からの安全推進ウィーク2020を一人一人が危険に対する感度を高め、安全を再確認する契機とし、事故の再発防止、未然防止に努めてまいります。過去発生した事故を、他山の石として、類似事故は絶対に起こさないことを決意し、ここに宣言いたします。

二〇二一年一月一四日

図1 安全宣言文



写真7 交通安全講演



写真8 健康講演

**「三密避けて マスクして
仲間を守り 自分を守る」**

図2 大会スローガン



写真5 参加者全員による「スローガン唱和」



写真6 贖いの日々特別朗読



写真9 クロージングメッセージ

マに新型コロナウイルス感染防止対策から見える交通事故防止対策についてご講演をいただきました(写真7・図3)。

4. ライブ配信・アーカイブ

オープニングセレモニー、贖いの日々朗読と講演会等の模様、NTT

西日本 中国健康管理センタ所長 山根 公則氏による健康講演「ウィズコロナ時代を生き抜く現代版養生訓」(写真8)や各種施策、クロージングメッセージ(写真9~10)は、特設ホームページからライブ配

密避けて マスクして 仲間を守り 自分を守る」を大会スローガン(図2)として会場参加者全員で唱和が行われました(写真5)。

また、岡山放送(OHK)の人気アナウンサー森 夏美様(写真6)による交通事故加害者の手記「贖(あがな)いの日々」の特別朗読が行われ、とても身に詰まされるものを感じ、交通事故は絶対に起こさないことを改めて誓いました。

3. 講演

モト ドクターK 代表 内匠(たくみ) 雄彦氏による交通安全講演「新型コロナウイルスの特性からみえる交通安全対策の方向性」をテー



写真10 クロージングメッセージ唱和

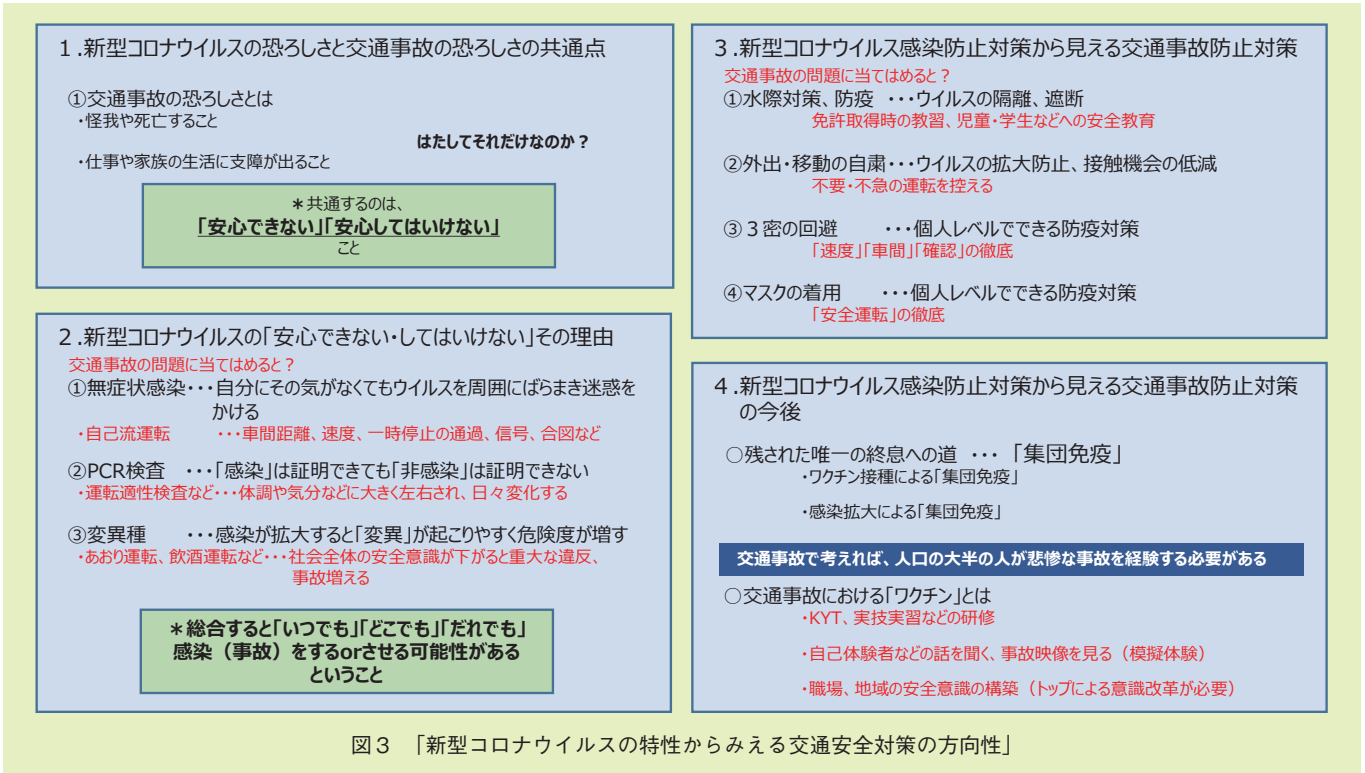


図3 「新型コロナウイルスの特性からみえる交通安全対策の方向性」

信およびアーカイブ配信されました（図4）。

5. おわりに

今年度の中国ブロック安全大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5県域で規模を縮小したり、リモート配信など変則的な開催となりましたが、それぞれ工夫を凝らした内容で改めて安全と健康について意識を高める良い機会となりました。

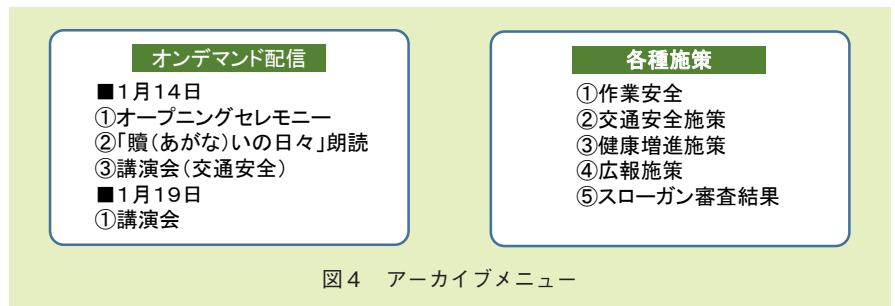


図4 アーカイブメニュー

今後もNTTグループおよび中国ブロッカー丸となって取組みを進めてまいります。
ご安全に！